

事業所名	北海道コンクリート工業株式会社 登別工場			業種	コンクリート2次製品製造販売	
代表者名	理事登別工場長 北村 幸三			TEL	0143-83-1325	
所在地	登別市港町2丁目1番地1			FAX	0143-83-2998	
本社(本店)名	北海道コンクリート工業株式会社			HP/URL	http://www.hcic.co.jp	
創業(法人設立)	昭和19年			資本金	222,750千円	
従業員総数(役員等含む)				産業分類	2123 コンクリート製品製造	
内訳	(単位:人)			売上高(最近3ヶ年)		
区分	男性	女性	計	(単位:千円)		
役員	()	()	()	決算期	売上高	
従業員数	事務系	8()	2()	10()	平成24年度	2,321,074
	技術系	5()	()	5()	平成23年度	2,304,920
	労働系	75(17)	5(5)	80(22)	平成22年度	2,617,270
	合計	88(17)	7(5)	95(22)	支店・営業所等の有無	(有)・無
	備考	※()内は、臨時・パートの内数			(道内)・道外・国外	
主な製品				主な製品の納入先及び販売先		
・コンクリートポール				納入先		
・コンクリートパイル				北海道電力(株)		
・コンクリートトラフ				北海道旅客鉄道(株)		
・コンクリートブロック				東日本電信電話(株)		
				ゼネコン各社		
				販売先		
				北海道電力(株)		
				北海道旅客鉄道(株)		
				東日本電信電話(株)		
				ゼネコン各社		
主な製品材料と仕入先				事業関連免許の保有状況(規格・認証関係含む)		
材料	仕入先					
セメント	太平洋セメント(株)			土木・とび土工工事業(特-24石第02931号)		
骨材	(株)アビーロード			JIS認証(TC 01 07 121)		
PC鋼線	新日鉄住金(株)			ISO9001認証(BCJ-QMS-0160)		
混和剤	花王(株)					
産業生産権(特許・実用新案・意匠権他)の保有数状況(申請含む)				技術技能免許の保有数状況(修士・博士・技能士他)		
プレストレストコンクリートポール又はパイルとその製造方法				コンクリート技士	3	
				クレーン・デリック運転士	32	
				危険物取扱者	11	
				ボイラー技士	6	
				電気主任技術者	1	
				電気工事士	1	
				衛生管理者	4	
保有設備						
区分	機械類の名称	台数	メーカー・形式			
主な製造設備	バッチャープラント	4	1.5m ³ -1台 1m ³ -2台 0.75m ³ -1台			
	遠心締固機	5	18m 2輪車式-3台 15m 2輪車式-2台			
	鉄筋直線自動切断機	3	φ7~φ11:1台 φ5~φ9:1台 φ7~φ9:1台			
	天井走行クレーン	24	2t~30t			

企業・会社の説明(戦略・PR)について

企業・会社の沿革

昭和19年 北海窯業振興株式会社として設立
昭和27年 遠心力鉄筋コンクリートポールの生産開始
昭和32年 社名を北海道コンクリート工業株式会社と改称
昭和39年 PCパイルの生産開始
昭和58年 工業標準化優良工場として、通商産業省(現在の経済産業省)工業技術院長より表彰
平成12年 ISO9001 認証登録
平成22年 PC鋼線に耐塩性被覆材を施した防食耐塩柱(ポール)の生産を開始

経営のご紹介

和・誠実・努力を経営理念としております。

製造のご紹介

主に遠心力成型を利用した、コンクリートポール・コンクリートパイル等を生産しております。

技術のご紹介

日本コンクリート工業(株)から技術供与を受け、高い技術力でお客様に信頼できる製品を提供しております。

製品のご紹介

コンクリートポール 配電・送電線路用／通信線路用／電車線路用 単柱(6～18m) 継柱(18～29m)
コンクリートパイル 強度85N・105N 杭径φ 300mm～φ 1000mm

販売のご紹介

技術営業を信念として、設計段階から積極的に営業をしております。

人事のご紹介

平成25年度は3名の新卒採用をしております。また、65才までの継続雇用を行っております。

社会
貢献
活動
(CSR)

地元小学校(登別小・幌別東小)の社会科見学で、工場生産ラインの見学を実施しております。

加入団体・組合等

登別商工会議所、一般社団法人コンクリートポール・パイル協会、日本共同溝工業会、SS研究会ほか